



連なって快音を響き渡らせながら次のPCを目指すマセラティ450Sとランチア・フルヴィア・クーペ、ボルボ1800ES。

EVENT REVIEW
04

HISTORIC CAR MEETING in SHIMA

Oct. 1-2, 2011 ●伊勢—志摩

気軽に参加できるヒストリックカー・ラリー

text: Yasunori Hayasaki (早崎康師) photo: Kenji Takeshima (竹嶋賢司)
主催者HP: <http://historiccarmeeting.com/>

ヒストリックカー・ラリーと聞くと敷居が高いと思われる方が多いだろうが、愛車の走りを満喫できるイベントを気軽に楽しんで欲しい、という想いで開催されているのが「ヒストリックカー・ミーティング」だ。主催者の天野氏はこれまでヒストリックカー・ラリーで数多く優勝してきたベテランだけに、その楽しみを多くの方に知ってもらおうべくこのイベントを立ち上げたのである。

「ヒストリックカー・ミーティング」の基本コンセプトは、この種のイベントにある敷居の高さを取り払い、初めての方や女性でも参加し易くすると共に、走行距離も無理のないものとし、エンターテインメント性を盛り込んでいることにある。それでいて2日間で20箇所のPCを組み込み、本

格的なヒストリックカー・ラリーと変わらぬ競技性を併せ持つ。ツーリング的に楽しんでよし、競技に徹底してもよしと、どのようにも楽しめるイベントとなっている。それだけに今回参加した48台中34台で、女性がナビゲーターあるいはドライバーとして参加していたことから理解できよう。

第4回目となる今回は、志摩スペイン村をベースにルートが組まれ、1日目はスペイン村でCPをこなしたのちパールロードを経て石鏡漁港まで向かい、昼食後には伊勢志摩スカイラインを占有しCPとSPC競技が行われた。その後プライム

リゾート賢島に設けられたCPに挑んだ後はスペイン村に戻り、村内に参加車両が展示された。2日目はスペイン村から市後浜、アクアヴィラ伊勢志摩、御座白浜海岸を回ってスペイン村に戻るルートで、途中3箇所CPとSCPが設定された。

フィニッシュ後に表彰式が行われ、全員に用意された賞品とお土産を手に参加者は満足げな表情で帰途についたことから、このラリーが目指すところが理解できた。ヒストリックカー・ラリーを始めようと考えている方は、このイベントに参加してみることをお勧めしたい。●



今回はトヨタ2000GTが前期、後期3台が参加した。今見ても流麗なスタイリングは沿道のギャラリーからも注目を集めていた。



ゲートをくぐり、スタートを切るベントレー3 1/2リッター。志摩スペイン村のキャラクター「ドンキー」とシニョーラがお見送り。



PCアタック中のジャガーEタイプ・ロードスター。ドライバーとコドライバーの息が合わなくてはオンタイムで通過できない。



PCに挑むフェラーリ・モンディアル。このイベントはクラシックカーだけではなく、様々なモデルで参加できるのが特徴だ。



アウトデルタ風のカラースキムとプレクシ・ウィンドーでやる気満々のアルファ・ロメオ・ジュリアATZがスペイン村をおとにぎう出撃。



競技が終わりフラメンコ・ショーを見た後は、マヨール広場に設けられた会場でディナー・パーティー。1日の闘いを称えあった。



表彰式を終え、沢山の賞品と楽しい思い出を胸に帰途につくエントラントたち。女性参加には特別のプレゼントも用意されている。